



(題字 時澤 貢 学長)

第428号
(平成12年 8月号)

8月のトピックス

◇ 1日 富山大学説明会を開催



△ 歓迎挨拶を行う時澤学長（左上）と満席の説明会場（黒田講堂大ホール）

目 次

関係法令	3	◆ 表彰	10
諸会議	3	◆ 海外渡航者	11
学 事		◆ 外国人来訪者	12
◆ 平成12年度教育改善推進費（学長裁量 経費）採択結果	3	職員消息	
人事異動	7	◆ 住所変更	12
学内諸報		◆ 新任者住所	12
◆ 大学説明会を開催	8	◆ 訃報	13
◆ 駐日アイルランド大使が附属図書館を 訪問	9	お知らせ	
◆ 学校図書館司書教諭講習を実施	9	◆ 人事院勧告の概要	13
◆ 中学生を対象とした公開講座「見えない ものを観る」を開講	10	◆ 「夢大学 in TOYAMA 2000－研究情報発信 ・体験入学－」の概要	16
		◆ 一般市民に正規授業を公開	20
		主要行事	21



△ 猛暑の中、大学説明会会場に集まる高校生たち（8月1日黒田講堂前）

関 係 法 令

(中央省庁等改革推進本部令)

- 文部科学省組織規則（中央省庁等改革推進本部29）
（平成12.8.14 官報号外第164号）
- 中央省庁等改革のための文部科学省組織関係命令の
整備に関する命令（同44）（同上）

(告 示)

- 通信教育の廃止を許可した件（文部139）（平成12.8.10 官報第2930号）

(省 令)

- 青少年及び成人の学習活動に係る知識・技能審査事業の名称等に関する省令（文部49）（平成12.8.16 官報第2934号）

諸 会 議

第1回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会

（8月10日）

(審議事項)

- (1) 委員会の進め方について

第1回富山大学の在り方に関する検討特別委員会

（8月28日）

(審議事項)

- (1) 委員会の進め方について

第2回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会

（8月25日）

(審議事項)

- (1) 中・長期計画の検討について

学 事

平成12年度教育改善推進費（学長裁量経費）採択結果

① 教育研究内容、組織運営体制の改善充実のための経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
人 文 学 部	少人数教育FDの基礎作業－総合演習を通して－	500	人文学部教務委員長 松崎一平 教授	
教 育 学 部	体、運動を核とした総合学習としての野外経費	1,000	西川友之 教授	
教 育 学 部	新入生研修及び在来生合宿研修	400	学生生活委員会副委員長 奥村義雄 教授	

附属学校	障害児教育指導法の推進—個に応じた指導の追求—	500	附属養護学校副校長 佐藤鉄朗	
工学部	平成11年度実施の工学部外部評価指摘事項の分析と対応に関する検討	1,000	工学部長 宮下 尚 教授	
工学部	工学部学生インターンシップ（継続）	300	工学部教務委員長 森田弘之 教授	
工学部	目的意識向上のための新入生学外合宿研修	250	竹越栄俊 教授	
水質保全センター	学内におけるゴミ減量化の試み～ゴミ分別の促進と紙ゴミの再資源化～	750	水質保全センター長 長谷川 淳 教授	
学生部	学務情報システム用ソフトフェアの導入	9,000	大学教育委員会委員長 時澤 貢	
総務部	人事課情報システム（新汎用）の導入	1,604	人事課長 山木宏明	
	10 件	15,304		

② 学部又は大学の枠を越えた教育研究の国際化、高度・先端化、学際化のための経費

部局名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
人文学部	環日本地域における国際交流に関する人文科学的共同研究—富山県における日露間「ヒトの国際交流・移動」に注目して—	2,000	佐々木重洋 助教授	
人文学部	全学部共通の、専門教育のための基礎的英語教育プログラムの研究	1,000	湯川純幸 教授	
理学部	極東アジア域における越境大気汚染物質の同時連続観測	3,700	張 勁 講師	
理学部	中国内モンゴル地域における自然環境破壊が下等脊椎動物の生理機構に及ぼす影響	500	内山 実 教授	
附属学校	2002年新教育課程編制（総合的な学習）推進事業	1,000	附属中学校副校長 大澤 保	
経済学部	コンピュータ・インテンシブな経済学研究	3,000	近藤康之 講師	
経済学部	環日本海における事業創造基盤の比較研究について—日中韓露のITと事業創造—	3,000	田中祥子 教授	
工学部	インターネットを用いた学習支援システム（CAIシステム）の構築	1,000	知能情報工学科長 袋谷賢吉 教授	
工学部	自然環境にかかわる“微生物工場”の基盤研究	2,000	小平憲一 教授	
附属図書館	日本学術図書総合目録データベースの整備	10,000	附属図書館長 小谷仲男	
機器分析センター	分析機器の共同利用による教育研究の先端化・学際化	2,000	機器分析センター長 龍山智榮 教授	
	11 件	29,200		

③ 大学改革等に必要経費

部局名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
人文学部	外部評価の実施	1,000	人文学部長 鈴木敏昭 教授	
理学部	外部評価の実施	1,000	理学部長 廣岡公夫 教授	
教育学部	教育学部の教育活動についての外部評価	600	教育学部長 塚野州一 教授	

経済学部	経済学部の外部評価実施	700	経済学部長 古田俊吉 教授	
総合情報処理センター	富山大学クラス・スケジュールリング・システム開発プロジェクト	2,000	総合情報処理センター長 山西潤一 教授	
総合情報処理センター	エンドユーザー・コンピューティング（EUC）推進化プロジェクト	1,000	総合情報処理センター長 山西潤一 教授	
環日本海地域研究センター	環日本海地域研究センター懇話会開催経費	500	環日本海地域研究センター長 丹羽 昇 教授	
経 理 部	アプリケーションソフトウェアの整備及び総合文書管理システム構築	2,835	経理課長 鈴木國夫	
経 理 部	会計経理事務の情報化に係る情報基盤の整備	2,500	経理部長 太田正信	
	9 件	12,135		

④ 地域との連携に必要な経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
理 学 部	理学部出前講義の実施	600	理学部長 廣岡公夫 教授	
工 学 部	高等学校への出張講座と工学部紹介（継続）	500	工学部長 宮下 尚 教授	
工 学 部	透光性を有するキーボードの予備実験およびその実用化に関する調査研究	700	唐 政 教授	
工 学 部	中学生対象の公開講座	400	教務係長 大崎秀雄	
地域共同研究センター	富山大学における技術移転機関（TLO）創設準備経費	2,320	地域共同研究センター長 女川博義 教授	
地域共同研究センター	産学連携推進のための情報ネットワークの整備	680	地域共同研究センター長 女川博義 教授	
生涯学習教育研究センター	平成12年度富山大学公開講座	600	生涯学習教育研究センター長 宇井啓高 教授	
生涯学習教育研究センター	第2回富山大学親子フェスティバル	900	生涯学習教育研究センター長 宇井啓高 教授	
環日本海地域研究センター	環日本海地域研究センター日露交流セミナー開催経費	500	環日本海地域研究センター長 丹羽 昇 教授	
学 生 部	留学生地域受入支援事業	500	学生部長 嶽釜康雄	
	10 件	7,700		

⑤ 特色ある大学づくりに必要な経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
理 学 部	富山湾の水環境をモニターする－富山湾の海水汚染の現状把握と汚染拡大防止を目指して－	2,500	中村省吾 助教授	
教育学部	単位互換制度を実効あるものにするためのオンラインコース授業の実現可能性に関する研究	600	向後千春 助教授	
工 学 部	工学部学力別クラス編成授業（継続）	400	工学部教務委員長 森田弘之 教授	
留学生センター	情報化・国際化社会における留学生センターの広報活動－情報発信基地をめざして－	2,000	留学生センター長 塩澤和章 教授	
	4 件	5,500		

⑥ 将来、科学研究費補助金などの外部資金の獲得につながる研究に必要な経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
理 学 部	高等植物の発生・生理解析のための新しいモデル植物の開発	2,500	若杉達也 助教授	
理 学 部	新規ニューロペプチドの探索と生物工学的応用研究開発	1,000	内山 実 教授	
工 学 部	分散微粒子3次元座標同時測定法の開発	2,000	伊藤研策 助教授	
	3 件	5,500		

⑦ 学生グループの研究支援に必要な経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
理 学 部	インピーダンス・スペクトロスコーピーによる破壊現象の研究	700	統山裕樹 大学院生 指導者 渡邊 了 助手	
理 学 部	富山県内における下等脊椎動物の分布と内分泌攪乱の調査	500	上条 雅 大学院生 指導者 内山 実 教授	
工 学 部	学生とともに実践する古代のロマン“富山における古代鉄製造に賭ける夢”	800	橋爪 隆 大学院生 指導者 寺山清志 助教授	
	3 件	2,000		

⑧ 教育上必要となる基本的設備のための経費

部 局 名	プロジェクト名	採択金額 (千円)	プロジェクト代表者氏名	その他
人 文 学 部	SCSおよびマルチメディア・システムを活用した外国語教育・学習プログラムの開発	2,000	矢澤英一 教授	
教 育 学 部	教育学部附属教育実践総合センター設置に伴う改修等に不足する経費の支援	10,000	教育学部長 塚野州一 教授	
施 設 課 (教育学部)	身体障害者の入学に伴う改修等に不足する経費の支援	14,211	施設課長 中島省吾	
附 属 学 校	幼稚園における「ものづくり・自然体験」に関する萌芽的研究	900	附属幼稚園長 原 稔 教授	
附 属 学 校	学校図書館の「学習情報センター化」プロジェクト	1,000	附属小学校校長 安藤修平 教授	
経 済 学 部	経済学部201教室の冷房設備設置とAV化	3,200	竹川慎吾 教授	
工 学 部	大規模集積システム設計教育のための基本的設備導入による教育高度化の試み	2,500	女川博義 教授	
工 学 部	3次元CG並びにアニメーションの実践教育のための基本設備の充実	2,500	袋谷賢吉 教授	
工 学 部	機械設計製図機具の更新	2,500	竹越栄俊 教授	
学 生 部	英語教育支援システムの導入	4,500	教養教育実施機構長 小澤 浩 教授	
	10 件	43,311		

	合 計 60件	120,650		
--	---------	---------	--	--

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	12. 7. 3	岡崎亜都子		事務補佐員（附属図書館情報サービス課）
	12. 7. 13	田村 真紀		事務補佐員（人文学部・理学部）
昇 任	12. 8. 1	本吉 友治	留学生課留学生係長	留学生課専門員（留学生担当）
	"	新庄 忍	主計課総務係主任	富山工業高等専門学校会計課出納係長
転 任	12. 8. 1	中村 克己	富山工業高等専門学校会計課出納係長	留学生課留学生係長
配 置 換	12. 8. 1	安部 公子	事務補佐員（附属図書館情報サービス課）	事務補佐員（附属図書館情報管理課）
任用更新	12. 8. 1	高橋 純	技術補佐員（総合情報処理センター）	任用更新
	"	早河 秀章	"（ " ）	"
育児休業	12. 7. 11	上木佐季子	助 手 経済学部	職務復帰
退 職	12. 7. 11	薄田 智宏	助 手 経済学部	平成12年7月10日限り任期満了により退職
	12. 7. 15	松井 輝代	臨時用務員（教育学部炊婦）	平成12年7月14日限り任期満了により退職
	"	堰免 芳子	"	"
	"	仲谷千鶴子	"	"
	12. 8. 1	立川 智之	技術補佐員（総合情報処理センター）	平成12年7月31日限り任期満了により退職
	"	山下 淳	"（ " ）	"
	"	西村 隆志	"（ " ）	"
	"	佐藤 宏隆	"（ " ）	"
辞 職	12. 7. 7	横川 みき	事務補佐員（人文学部・理学部）	辞 職
	12. 7. 31	清水 寛	留学生課専門員	"
	"	中島 潤子	附属図書館情報管理課図書情報係主任	"
	"	柳原 一雄	臨時用務員（契約室作業員）	"
職務命令	12. 7. 15	竹内 茂彌	教 授 教育学部	水質保全センター長（～14. 7. 14）

学 内 諸 報

大学説明会を開催

— 富山大学会場 —

去る8月1日（火）に本学を会場（黒田講堂等）として富山大学説明会を開催しました。

この説明会は、大学進学を目指す高校2年生及び3年生を対象に、本学の入試内容や教育内容などについての理解を得ることを目的として毎年開催しており、今年で13回目の開催となりました。

近年は、夏休み期間中に志望大学を見学することが定着したことから、富山県をはじめ、石川県など近県はもとより、遠くは岩手県や広島県などからの参加者もあり、今年は826人の参加者がありました。

当日は、午前中黒田講堂において、時澤学長の挨拶、能登谷副学長から本学の概要や平成13年度入試の説明の後、大学紹介ビデオの上映が行われ、午後からは希望する学部に分かれ、模擬授業、在学生からの説明や実験室等の見学紹介などを行いました。

参加した高校生たちは、進路決定の参考にしようと、熱心に説明に聴き入っていました。



▲ 全体説明会（黒田講堂大ホール）

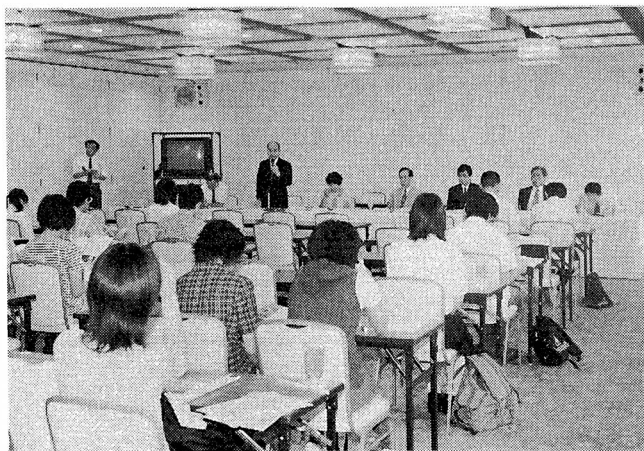
— 名古屋市会場 —

今年で8回目となる学外での大学説明会を去る8月4日（金）に名古屋市内で開催し、50名の参加者がありました。

午前中は高等学校の進路指導担当教諭を対象に、午後からは本学への進学を希望する高校生及びその保護者などを対象にそれぞれ説明を行いました。

説明会では、大学概要及び各学部の説明、また平成13年度入試の概要説明及び大学紹介ビデオの上映（午後の部のみ）を行った後、質疑応答や個別相談に応じました。

質疑応答や個別相談は、来年度入試の概要や各学部の特徴及び進路状況などについて活発に行われました。



▲ 名古屋市会場の模様（KKR三の丸）

駐日アイルランド大使が附属図書館を訪問

去る8月3日(木)、駐日アイルランド特命全権大使デ克蘭・オドノバン氏が附属図書館を訪問されました。

ヘルン文庫は、アイルランド出身のラフカディオ・ハーン(後に日本に帰化し小泉八雲と称した。)の旧蔵書2435冊からなり、本学の前身校の1つである旧制富山高等学校創設の際、全国から優秀な研究者を集めるため、馬場家(旧制富山高等学校創設資金寄付者)がハーンの遺族から譲り受け同校に寄贈されたもので、現在は附属図書館の貴重な所蔵資料となっています。

当日は、小谷館長や人文学部鈴木教授が、ハーン自筆の「神国日本」の原稿等について細やかに説明し、大使は熱心に見学されました。

なお、今年は、ハーン生誕150周年にあたり、秋には富山市で記念事業が実施されることになっています。



▲ ハーンの肖像とともに記念撮影(右からデ克蘭・オドノバン大使、鈴木人文学部教授、小谷図書館長)

平成12年度学校図書館司書教諭講習を実施

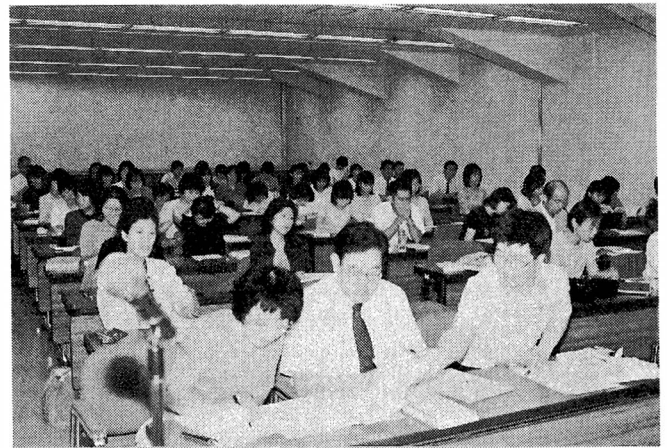
平成12年度学校図書館司書教諭講習が、7月27日(木)から8月10日(木)まで黒田講堂会議室を主会場として実施されました。

この講習は、学校図書館の専門的職務に携わる司書教諭を養成するため、文部大臣の委嘱を受け毎年実施されているもので、本学は平成5年度から担当し、今回で8回目を数えます。

本年度は108人の参加があり、その内訳は現職教諭91人、学生(3年次以上)13人、その他4人でした。

参加者は、猛暑にもかかわらず、学校図書館司書教諭の資格取得に向けて、熱心に受講していました。

なお、講義の内容等は、次のとおりです。



▲ 講習会の模様(黒田講堂会議室)

時間 月日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	講 師	
7月27日(木)	(受付)										
28日(金)	8:30~8:45		学校経営と学校図書館	昼休み	学校経営と学校図書館						富山短期大学 非常勤講師 村上 和子
8月3日(木)	(連絡事項)										
4日(金)	8:45~9:00										
8月7日(月)	(受付)										
8日(火)	8:30~8:45		学校図書館メディアの構成	昼休み	学校図書館メディアの構成						富山大学附属図書館 専門員 滋野 康雄 情報サービス課 吉田 恵吉 " 山田 正芳
9日(水)	(連絡事項)										
10日(木)	8:45~9:00										

中学生を対象とした公開講座「見えないものを観る」 を開講－工学部－

恒例となった中学生を対象とした公開講座（体験学習）を7月31日～8月1日の2日間にわたって、工学部の研究室を会場として開講しました。

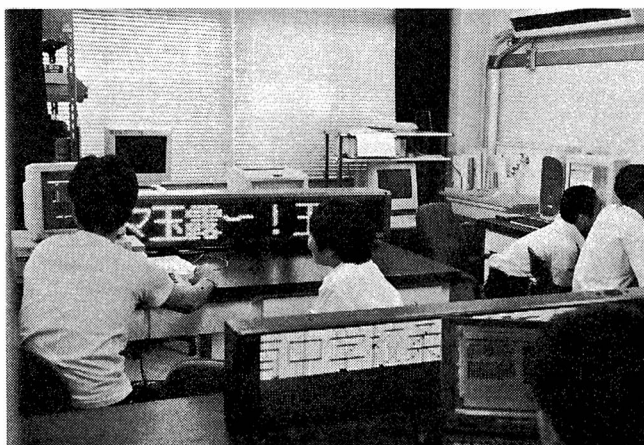
この公開講座は、本年度で6回目を数え、科学に興味を持つ中学生が多数参加する安定した企画へと成長し、今年度のテーマは「見えないものを観る」として、県内各地から41名が参加しました。

今回は、昨年と同様に、限られた時間内で、出来る限り多くの研究に触れるという目的で、2研究室を1日ずつ体験させることとし、講義内容は次の7テーマを準備しました。

- ①シリコン表面の原子の配列を見る
- ②光と色の世界－眼と光と色彩の不思議－
- ③マイクロマシン、ナノマシン－小さな小さな機械－
- ④薬剤耐性遺伝子を見てみよう－抗生物質はなぜ効かなくなるのか？－
- ⑤高温で溶ける物質の七色変化を観る
- ⑥遺伝子の本体DNAを目で見てみよう－生命の設計図は目で見えるか？－

⑦化学反応を使って微量成分を観る－ジュースの成分なあに？－

公開講座終了後に開催された中学生諸君と担当の教官との懇談会の場では、「大変興味深い研究に触れることができて感動した」、「コンピュータシミュレーションに興味を感じた」などの発言がありました。



▲ 公開講座風景

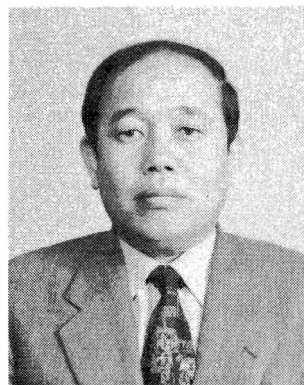
表

彰

工学部高辻助教授が会田技術奨励賞を受賞

工学部高辻則夫助教授が約18年にわたり行ってきた「熱間押し出し加工に関する基礎的研究」に対して、(株)日本塑性加工学会よりその成果が認められ、5月26日～28日に開催された日本塑性加工学会総会において、平成12年度会田技術奨励賞が授与されました。

会田技術奨励賞は、塑性加工の分野における学問・技術に関する顕著な業績に贈られる賞で、平成12年度は1個人、2団体が受賞しました。高辻助教授の業績題目は「熱間押し出し加工に関する基礎的研究」となっています。



▲ 高辻助教授

(海) (外) (渡) (航) (者)

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	工 学 部	助教授	佐 藤 雅 弘	カ ナ ダ	非線形音波のFDTD法による定式化及び解析に関する研究	12. 8. 1 ～ 12. 8. 31
	工 学 部	助教授	蓮覚寺 聖 一	フ ラ ン ス ハ ン ガ リ	16回化学教育国際会議に出席, 研究発表	12. 8. 2 ～ 12. 8. 11
	機器分析 センター	助教授	中 村 優 子	フ ラ ン ス ハ ン ガ リ	16回化学教育国際会議に出席, 発表	12. 8. 2 ～ 12. 8. 11
	教育学部	助教授	大 川 信 行	ア メ リ カ 合 衆 国	全米カレッジ・バスケットボールの発展過程とコーチング理論の現状に関する研究	12. 8. 14 ～ 13. 6. 14
	人文学部	助教授	小 野 直 子	ア メ リ カ 合 衆 国	アメリカ医学史関係史料収集	12. 8. 17 ～ 12. 9. 1
	理 学 部	助教授	藤 浩 明	ブ ラ ジ ル	第15回地球内部電磁誘導に関するワークショップに出席, 研究発表	12. 8. 18 ～ 12. 8. 28
	工 学 部	助教授	寺 山 清 志	カ ナ ダ	COM2000国際会議に出席, 研究発表	12. 8. 20 ～ 12. 8. 25
	工 学 部	助教授	吉 田 正 道	オ ラ ン ダ	第12回国際乾燥シンポジウムに出席, 研究発表	12. 8. 25 ～ 12. 9. 3
	経済学部	助教授	中 村 和 之	ス ペ イ ン	第56回国際財政学会での研究報告, 学術交流	12. 8. 26 ～ 12. 9. 2
	経済学部	助教授	垣 田 直 樹	ス ペ イ ン	第56回国際財政学会での研究報告, 学術交流	12. 8. 26 ～ 12. 9. 2
	人文学部	講 師	青 木 恭 子	ロ シ ア	研究資料収集	12. 8. 31 ～ 13. 3. 1
	工 学 部	教 授	塩 澤 和 章	ス ペ イ ン	第13回破壊に関するヨーロッパ会議に出席, 研究発表	12. 8. 31 ～ 12. 9. 11
	海外研修	教育学部	教 授	宇 井 啓 高	ブ ラ ジ ル	万国地質学会に出席, 発表
理 学 部		教 授	平 山 実	中 国	国際会議ICEIC' 2000に出席, 講演	12. 8. 8 ～ 12. 8. 18
人文学部		講 師	林 夏 生	韓 国	韓国における対日文化外交政策についての調査・研究	12. 8. 14 ～ 12. 8. 19
教育学部		教 授	佐 藤 幸 男	ヴ ィ エ ト ナ ム	ベトナムにおける教育事情及び小規模移動の実態調査	12. 8. 16 ～ 12. 8. 23
教育学部		助教授	布 村 忠 弘	中 フ ィ リ ピ ン	2000年ワールドグランプリ大会における全日本女子バレーボールチームのメディカルサポートに関する調査研究	12. 8. 16 ～ 12. 8. 28
理 学 部		教 授	鈴 木 邦 雄	ブ ラ ジ ル	国際昆虫学会会議に出席, 研究発表	12. 8. 17 ～ 12. 9. 4

経済学部	助教授	青木 亮	ドイツ フライ ブルグ	ツ ス ス	LRT (低床電車)に関する調査, 資料収集	12. 8. 20 } 12. 9. 12
理学部	教授	金坂 績	中	国	第17回ラマン分光学に関する国際 会議に出席	12. 8. 20 } 12. 8. 26
附属学校	教諭	横野 誉子	アメリ カ合衆 国		コンピュータやインターネットを 活用した新情報教育についての打 ち合わせ	12. 8. 21 } 12. 8. 29
教育学部	教授	山西 潤一	アメリ カ合衆 国		マーレイ州立大学との情報教育に 関わる共同研究	12. 8. 21 } 12. 8. 29
理学部	講師	張 勁	アメリ カ合衆 国		極域における海水・海底堆積物の 採取	12. 8. 22 } 12. 10. 7
教育学部	助教授	鼓 みどり	イ フ イ	ギ ラ タ リ ス ス ア	CIHA2000 (国際美術史学会大 会)に出席	12. 8. 31 } 12. 9. 27

外国人来訪者

氏名 (国籍)	本国における 所属機関・職名	来学目的	本学受入先	期 間
ポジェンナ カバレツ ピエトレンコ Bozenna Kawalec-Pie- trenko (ポーランド)	グダニスク工科大学 化学プロセス工学科 主任教授	日ポーランド科学技術協力 プロジェクト (R-98 各種 気泡塔反応器の流動特性 多相流の研究) 共同研究推 進	工学部教授 熊澤英博	12. 9. 3 } 12. 9. 13

職員消息

《住所変更》

部 局	職	氏 名
工 学 部	文部教官 (助教授)	安川洋生

《新任者住所》

部 局	職	氏 名
学 生 部	文部事務官 (留学生係長)	中村克己

訃 報

8月に現職がお亡くなりになりました。
 ここにご報告するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



蘆田 完 氏
 (水素同位体科学研究センター助教授)
 8月3日逝去
 享年46歳

お 知 ら せ

人事院勧告の概要

平成12年8月15日、人事院は国会及び内閣に対し、国家公務員法、一般職の給与に関する法律等の規定に基づき、一般職の職員の給与について報告し、併せて給与の改定について勧告するとともに、公務員人事管理の改革

について報告しました。

給与勧告の骨子及び公務員人事管理の改革に関する報告の骨子は、以下のとおりです。

給与勧告の骨子

- 本年の給与勧告のポイント
 - ① 基本給（俸給表）の改定の見送り
 - ② 子等に係る扶養手当の引上げ
 - ③ 期末・勤勉手当（ボーナス）の引下げ（△0.2月分）
 ～平均年間給与、2年連続の減少（△6.9万円（△1.1%））

勧告に当たり、引き続き厳しい諸情勢の下、民間の給与抑制措置・雇用調整等の実施状況について幅広く調査・把握するとともに、有識者、企業経営者等の意見を広く聴取（東京、全国33都市）

1 給与勧告の基本的考え方

<給与勧告の意義> 労働基本権制約の代償措置

労使関係の安定等能率的公務運営の基盤

<民間準拠方式> 市場原理による決定が困難、マイナス方向の調整も含め民間給与に均衡させるのが基本

<身分保障と給与> 厳しい服務規律を伴い、公務の中立性・安定性の確保を目的とする身分保障と給与水準はそれぞれの次元で判断すべきもの

2 官民給与の比較

約7,600事業所の約46万人の個人別給与を实地調査（完了率約95%）

<月例給> 官民の実際に支払われた4月分給与を調査（ベア中止，賃金カット等の企業の状況も反映）
単純な平均値ではなく，職種，役職段階，年齢など給与決定要素の同じ者同士を比較

<ボーナス> 過去1年間の民間の支給実績（支給月数）と公務の年間支給月数を対比

- 官民較差（月例給）447円0.12%〔行政職(-)・(=)現行給与 375,269円 平均年齢 40.5歳〕

3 改定の考え方

- ① 官民給与の精確な比較による適正な公務員給与水準の維持の要請（昨年国会附帯決議等）
- ② 民間の改定状況
～ 約半数（52.9%）の事業所で，雇用調整等を行いつつ，低率であってもベア実施
- ③ 四現業職員（約31万人）はベア完全実施（0.12%，369円）が決定
- ④ ボーナス引下げにより，職員の平均年間給与は2年連続で相当程度減少
- ⑤ 省庁再編（局課数の大幅削減），定員削減（10年間で25%削減），行政コスト削減（10年間で30%削減）等公務における業務効率化の努力などを考慮

<俸給表の改定は行わず，扶養手当により措置>

<配分> 扶養手当 413円 はねかえり分 21円 計 434円

- ① 官民給与の較差が例年になく小さく，従来どおり配分にめりはりをつけた俸給表の改定は困難
- ② 連年のボーナスの引下げにより，特に家計への影響が大きいと考えられる中堅層職員に配慮

<ボーナスは民間の支給月数に見合うよう引下げ>

4 改定の内容

- (1) 扶養手当 ・子等のうち2人目までの手当額 1人につき 5,500円 → 6,000円（500円引上げ）
・子等のうち3人目までの手当額 1人につき 2,000円 → 3,000円（1,000円引上げ）
- (2) 期末・勤勉手当等 年間支給月数 4.95月分 → 4.75月分（△0.2月）
12月期で引下げ 期末手当 1.75月分 → 1.6月分（△0.15月）
勤勉手当 0.6月分 → 0.55月分（△0.05月）

[実施時期] 平成12年4月1日

- 調整手当の支給地域等について，地域における民間賃金，物価及び生計費の実情に応じて見直し（平成13年度から実施）

5 給与システムの改革

～ 個人の能力・実績をより重視した給与体系への転換

<施策の検討の基本的方向>

- ① 高い専門性を有する職員の処遇
- ② 専門職・スタッフ職の活用と処遇
- ③ 実績重視による動機付け
- ④ 能力・実績の反映のための評価システムの充実

<俸給体系の再構築>

- ・ 現行の総合給型の俸給表の構造を，職員の職務，能力の伸長や経験の蓄積，優れた成果や実績という3要素を踏まえ，基本的に見直し（号俸構成，昇給制度（昇給期間，特別昇給）等）
- ・ 本省課長級等の管理職員，スタッフ職員等について実績等の給与への反映を強化
～ 引き続き関係者等の意見を聴取しつつ，早期に成案

【参考】モデル給与例

(単位：円)

			勸 告 後		年 間 給 与 の 減 少 額
			月 額	年 間 給 与	
係 員	25 歳	独 身	188,900	3,164,000	△ 38,000
	30 歳	配 偶 者	243,600	4,062,000	△ 48,000
係 長	35 歳	配 偶 者, 子 1	327,700	5,536,000	△ 60,000
	40 歳	配 偶 者, 子 2	366,900	6,194,000	△ 59,000
地 方 機 関 課 長	50 歳	配 偶 者, 子 2	490,380	8,176,000	△ 81,000
本 省 課 長	45 歳	配 偶 者, 子 2	685,020	11,856,000	△ 136,000
本 省 局 長	—	—	1,148,000	19,658,000	△ 245,000
事 務 次 官	—	—	1,507,520	25,814,000	△ 322,000

公務員人事管理の改革に関する報告の骨子

国民本位の効率的な行政の実現に向け ① 深い教養等に裏付けられた使命感, 国民と同一の生活感覚・目線を持つ幹部公務員の育成 ② 高い専門能力と人材の多様性の重視 ③ 能力, 適性等に基づく人事管理の推進 ④ 幹部公務員の早期退職慣行の是正 などの視点から公務員人事管理を改革

1 高い専門能力の確保

- (1) 民間人材採用の円滑化のための任期付採用制度の創設 (別途, 意見の申出)
 - ・ 専門的な知識経験等を有する者の任期付採用及び給与の特例に関し, 立法措置を要請
- (2) 法科大学院構想など大学院教育の充実に対応した幹部要員の確保
 - ・ 行政を担う有為な人材の確保のために有効な大学院教育に関する検討を期待し, その動向を注視するとともに, 幹部要員の養成, 採用の在り方等を検討
- (3) 若手研究員の任期の弾力化
 - ・ 任期付研究員制度の一層の活用を資するよう, 若手育成型の任期等について検討

2 国民の信頼にこたえ得る人事管理の実現

- (1) 適正な退職管理の推進
 - ・ 幹部公務員の長期在職に向けて, 政府方針の下で各省庁退職年齢引上げ指針の作成及びフォローアップ, 能力, 適性に応じた複線の昇進管理などにより, 計画的に退職年齢を引上げ
 - ・ 再任用の円滑な導入を支援。公務外への就職希望者向け情報提供システムを検討
- (2) 能力, 適性等に基づく人事管理の推進
 - ・ 事務官・技官の別等による硬直的人事管理の見直しを促し, 支援する施策を検討
 - ・ 行政研修 (特別課程) の拡充, 海外研修等を通じⅡ種・Ⅲ種等採用職員の登用を推進
 - ・ 能力, 適性等を重視した人事管理へ転換するための評価システムの検討
- (3) 新府省への移行と適切な人事管理
 - ・ 旧所属省庁にとらわれない人事管理, 副大臣等との適切な指示・協力関係の構築, スリム化に対応した適材適所の人事配置など中央省庁等改革の円滑な実施に関し, 人事上の留意点を言及

3 公務員の意識改革等を通じた組織活力の維持・向上

- (1) 幹部公務員の意識改革

- ・深い教養や哲学に裏付けられた使命感、国民の生活感覚・目線を共有できるしなやかな感性を持つ幹部公務員の確保・育成を図るため、講ずべき具体的方策を検討

(2) ゆとりある健康な職業生活に向けての取組

- ・超過勤務縮減の取組を支援。保健指導マニュアルの作成など生活習慣病対策を充実・強化

4 男女共同参画社会の実現に向けた取組

(1) 女性の採用・登用の拡大

- ・採用・登用の状況及びその取組を把握し必要に応じ公表。採用・登用の拡大に向けた施策を各省庁が計画的に推進するための指針の策定を検討

(2) 職業生活と家庭生活の両立に向けた休暇・休業制度の検討

- ・介護に専念できる期間の延長や子どもの看護に係る休暇について各方面の意見を聞きながら検討

「夢大学 in TOYAMA 2000 - 研究情報発信・体験入学 -」の概要

本学では、地域に開かれた大学として、教育研究活動の状況や施設などを広く地域社会に開放するため、大学開放事業「夢大学 in TOYAMA」を毎年実施しています。

地域の方々や子ども達が、実験やものづくりなどを通して、見て、触れて、不思議世界を体験することで、科学や社会問題に関心を深め、かつ本学の取組を理解していただくよう、毎年事業内容に工夫を加えています。

本年度は、11月11日（土）、12日（日）の両日、五福キャンパスにおいて、以下の事業概要のとおり開催することになりました。

多くの人々、子ども達が参加するよう、教職員・学生の積極的な企画参加とご近所への呼びかけ等の協力をお願いします。

申込・問い合わせは、地域共同研究センターまで
(TEL: 076(445)6936)



▲ 昨年度の1コマ

1. 研究情報発信—研究・実験等展示—一覧—

No.	タイトル	学部等	担当者
1	光はおもしろい	理学部物理学科	教授：高木 光司郎 助教授：松島 房和
2	ナイロンを作ろう	理学部化学科	助教授：石岡 努
3	天体からの贈りもの—球状炭素分子誕生の謎—	理学部化学科	教授：山本 浩司 助教授：樋口 弘行
4	サクラ、リンゴ、イチゴもバラの仲間	理学部生物学科	教授：鳴橋 直弘
5	葉緑体のはたらき—その知られざる一面—	理学部生物学科	助教授：若杉 達也
6	海で山で地球の中を覗くには？	理学部地球科学科	助教授：藤 浩明
7	立山の台地をおおった巨大な氷河	理学部地球科学科	教授：小林 武彦
8	酸性雨って、どんな雨？	理学部生物圏環境科学科	教授：佐竹 洋
9	植物の“乾燥”防衛作戦をみる	理学部生物圏環境科学科	教授：井上 弘
10	トリクロロエチレンを無害物質に変換	教育学部理科教育	助教授：宮部 寛志
11	日本の食料問題	経済学部経済学科	教授：酒井 富夫
12	君も名裁判官！	経済学部経営法学科	教授：角森 正雄

13	電気浮上！？	工学部電気電子システム工学科	教授：升方 勝巳 助教授：高橋 隆一 技術専門官：北村 岩雄
14	太陽の謎に迫る	工学部電気電子システム工学科	教授：坂井 純一
15	コンピュータの中の実験室	工学部電気電子システム工学科	教授：村井 忠邦 助教授：堀田 裕弘 文部技官：本田 和博
16	極微の世界を観み、探る、作る	工学部電気電子システム工学科	教授：上羽 弘 助手：三井 隆志
17	楽しい情報の世界	工学部知能情報工学科	教授：河崎 善司郎 助教授：田島 正登 助手：瀧田 啓司
18	おもしろい光と視覚の世界	工学部知能情報工学科	教授：中嶋 芳雄 助教授：松田 秀雄 助手：宮腰 隆
19	力学が解きほぐす生体の謎	工学部機械知能システム工学科	教授：五嶋 孝仁 助教授：石原 外美 助手：清水 理能
20	覚えた形に戻るかしこい金属と遊んでみよう！	工学部機械知能システム工学科	教授：松木 賢治 助教授：高辻 則夫 助手：曾田 哲夫 技術専門職員：室谷 和雄
21	渦抑制板を用いた管群から騒音防止策	工学部機械知能システム工学科	教授：岩淵 牧男 助教授：奥井 健一 技術専門職員：渡辺 秀一
22	ナノ世界の機械工学	工学部機械知能システム工学科	教授：岩城 敏博 講師：佐竹 信一
23	スライムを作ろう	工学部物質生命システム工学科	教授：黒田 重靖 助教授：小田 晃規 講師：宮武 滝太 文部技官：京極 真由美
24	分子をコンピュータで描いてみよう！	工学部物質生命システム工学科	教授：吉村 敏章 助手：藤井 孝宣
25	動物が植物になった！？	工学部物質生命システム工学科	助教授：安川 洋生
26	唾液からなにがわかるのか	工学部物質生命システム工学科	助教授：山口 昌樹
27	粉・粒を科学するー巨大ピラミッドを護り、時を刻む。そして、ファインな新素材を創るー	工学部物質生命システム工学科	教授：杉本 益規 文部技官：宮嶋 俊明
28	納豆の美味しさの秘密は！	工学部物質生命システム工学科	教授：星野 一宏
29	おもしろい七変化ーオリジナル小物をつくろう！ー	工学部物質生命システム工学科	教授：池野 進 助教授：松田 健二
30	ステンレス鋼の応力腐食割れープラントを破壊する恐ろしい腐食ー	工学部物質生命システム工学科	助手：砂田 聡
31	ガラス細工にチャレンジ！！	工学部実習工場	技術専門職員：藤岡 和典
32	溶けた金属でいーものを作ろう！	工学部実習工場	技術専門職員：二宮 英治
33	生誕150周年を迎えたラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の蔵書にふれる	附属図書館	図書館専門員：滋野 康雄
34	ソフトウェアの歴史展ーコンピュータ、ソフトなければただの箱ー	総合情報処理センター	助教授：高井 正三 技術専門職員：豊本 勉、畑 篤 文部技官：川原 智徳
35	廃液処理最前線	水質保全センター	助手：加賀谷 重浩
36	低温・超伝導・超流動	低温液化室 工学部物質生命システム工学科 理学部物質学科 教育学部理科教育	教授：森 克徳 助教授：西村 克彦 教授：櫻井 醇児、石川 義和 助教授：桑井 智彦 助手：水島 俊雄 助教授：市瀬 和義
37	本当に豊かな人生のために	生涯学習教育研究センター	教授：大石 昂
38	ー共同研究のすがたー大学とつきあってみませんか？	地域共同研究センター	教授：女川 博義、城石 昭弘 助教授：草開 清志

2. 体験入学講座一覧

講座 番号	講 座 名	募集定員	学 部 名	指導主任教官
11月11日 (土) 1日コース				
1	南極の科学	20	教育学部	教授 宇井 啓高
2	インターネットを10倍楽しむための利用技術	10	経済学部	教授 古田 俊吉
3	税制・刑事事件・地方自治入門	40	経済学部	講師 近藤 和哉
4	君も名裁判官!	40	経済学部	教授 角森 正雄
5	インターネットで変わるライフ・スタイル	30	総合情報処理センター	教授 山西 潤一
中学生・高校生対象講座				
6	外国語の世界—いろいろな言語のいろいろな響き—	20	人文学部	教授 藤本 幸夫
7	おもちゃとコンピュータで曲線をかこう!	10	理学部	教授 鈴木 正昭
8	進め!電波少年 in TOYAMA	8	理学部	教授 常川 省三
9	生命を支える遷移金属イオン	10	理学部	教授 金森 寛
10	たんぼの中の小さな生き物	10	理学部	助教授 川本 恵一
11	線虫を探し・撮ろう	5	理学部	教授 黒田 英世
12	呉羽丘陵の自然—秋を観察し、竹を伐って遊ぼう	15	教育学部	教授 田中 晋
13	会社ってなんだろう	10	経済学部	教授 森岡 裕
14	ブリティッシュ・ティーができるまで	10	経済学部	講師 大西 吉之
15	ロボットを制御してみよう!	10	工学部	教授 作井 正昭
16	パソコンを組み立てよう	6	工学部	教授 龍山 智榮
17	インターネットの世界を探検しよう!!	20	工学部	教授 米田 政明
18	電能工房 (コンピューターによるモノ作り)	7	工学部	教授 能登谷 久公
19	制御技術を学んでみよう	15	工学部	教授 大住 剛
20	細胞の中のDNAを自分の目で見てみよう。	5	工学部	教授 磯部 正治
21	流れの可視化～見えないものを見てみよう～	10	工学部	教授 宮下 尚
学校教員・社会人対象講座				
22	環境ホルモンも測れる!?だれでもできる簡易計測法	10	理学部	教授 田口 茂
23	誰でも楽しめるクラシック音楽	30	教育学部	助教授 石井 哲夫
24	システム思考のすすめ	10	経済学部	助教授 古川 勝
11月12日 (日) 1日コース				
中学生・高校生対象講座				
25	「こころ」とは何だろうか?	20	人文学部	教授 梅村 智恵子
11月11日 (土)・12日 (日) 2日コース				
26	“小さな世界”をのぞいてみよう—電子顕微鏡観察の楽しみ—	5	工学部	教授 池野 進
中学生・高校生対象講座				
27	呉羽山丘陵の地球科学	10	理学部	教授 竹内 章
28	友だちをつくろう—人間関係を広げるコミュニケーション—	15	教育学部	助教授 小林 真
29	環日本海英語塾	40	環日本海地域研究センター	講師 堀江 典生

夢大学 in TOYAMA 2000

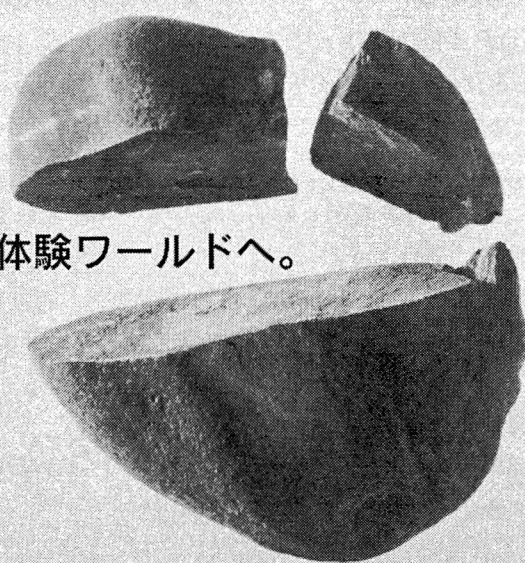
研究情報発信

～1日まるごと面白体験～


日 時／平成12年 11月11日(土)

9:30～17:00

会 場／富山大学〔入場無料〕



不思議体験ワールドへ。

主 催／富山大学 後 援／富山県教育委員会・富山市教育委員会・北日本新聞社・富山新聞社・読売新聞北陸支社・ 富山放送局・北日本放送・富山テレビ放送・チューリップテレビ(順不同)

▲ 夢大学への参加を呼びかけるポスター

一般市民を対象に正規授業を公開

本学では、昨年度から一般市民を対象として公開授業を実施しましたが、今年度も「地域と人間」という主題で正規授業を公開することになりました。この公開授業は、21世紀を目前にひかえて、今「地域に生きる」ことの現代的な意味を理解していただくことを目標としてい

ます。

実施期間は平成12年10月19日から12月21日まで、受講申込は10月17日まで。スケジュールや受講料などは次のとおりです。

平成12年度富山大学公開授業スケジュール

区分	期 日	講 師 氏 名 ・ 所 属	内 容	時 間
①	10月19日(木)	竹川 慎吾 (富山大学経済学部)	介護問題と地域社会	4.5時間
	10月26日(木)	"		
	11月2日(木)	西村 和美 (デイケアハウス)		
②	11月9日(木)	吉田恵美子 (富山警察署)	少年非行の現在 －警察補導員からの提言－	1.5時間
③	11月16日(木)	稲葉 実 (富山国際職芸学院)	生涯現役 －職人社会からのメッセージ－	1.5時間
④	11月30日(木)	大谷 博之 (大谷治療院)	もっと自由に表現しよう！ ～Talk Live～	3 時間
	12月7日(木)	"		
⑤	12月9日(土)	北村 暁夫 (日本女子大学文学部)	南イタリアの地域共同体	4.5時間
⑥	12月14日(木)	高才 弘 (有限会社コース)	在日韓国人と日本の地域社会の現在	3時間
	12月21日(木)	"		

(注) 希望の授業を選択受講することができる。ただし、①、④、⑤、⑥は2～3コマ続きで受講すること（これらは「1コマだけ」の受講は不可）。

受講料は、規定に基づき受講時間数（1コマ1.5時間）により異なる。合計1～5時間/¥4,500、5～10時間/¥5,500、10～15時間/¥6,500、15～20時間/¥7,500。

基本的に、木曜日5時限目（16:45～18:15）に開講、⑤のみ12月9日土曜日3～5時限に開講。

申込・問合せは、生涯学習教育研究センターまで（TEL:076(445)6956）。

訂 正

第427号19ページの記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

(正) 高等学校の進路指導担当教諭との懇談会を開催

(誤) 高等学校の進路指導担当教諭との懇話会を開催

主 要 行 事

本 部

- 8月1日 大学説明会
辞令交付
省エネ推進員打合せ会
- 2日 第2回広報委員会広報活動専門委員会
第8回教育研究基盤校費検討委員会
- 3日 富山県インターンシップ推進協議会（第一ホテル）
- 4日 大学説明会（KKR名古屋三の丸）
- 10日 第1回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会
第9回教育研究基盤校費検討委員会
- 22日 大学入試センター試験入試担当者連絡協議会（福井ワシントンホテル）
- 25日 第2回富山大学の将来計画に関する検討特別委員会
北陸地区会計事務担当者連絡協議会（富山医科薬科大学）
- 28日 第1回富山大学の在り方に関する検討特別委員会
第10回教育研究基盤校費検討委員会
- 29日 ペーパーレス化・文書管理システムデモ
- 31日 官公需確保対策地方推進協議会（富山商工会議所）
辞令交付
第5回教養教育検討特別委員会

人 文 学 部

- 8月1日 学部説明会

教 育 学 部

- 8月1日 「総合的な学習の時間」に関する教育運営協議会
学部説明会
- 30日 学部図書委員会
学部将来計画委員会
- 31日 附属小学校第2学期始業式

経 済 学 部

- 8月1日 学部説明会

理 学 部

- 8月1日 学部説明会
- 29日 理工学研究科博士後期課程入学試験
- 29～30日 理工学研究科博士前期課程入学試験

工 学 部

- 8月1日 学部説明会
- 10日 学部教務委員会
- 21日 工場運営委員会
- 28日 学部安全委員会
- 29日 理工学研究科博士後期課程入学試験
- 29～30日 理工学研究科博士前期課程入学試験

附 属 図 書 館

- 8月3日 第3回50年史編集小委員会

地 域 共 同 研 究 セ ン タ ー

- 8月17日 第6回運営委員会（持ち回り）
- 28日 先端技術研修（バイオテクノロジーコース）
（～9月1日）

編 集 富山大学総務部企画室 〒930-8555富山市五福3190 TEL.(076) 445-6029 FAX.(076) 445-6033
印刷所 あけぼの企画㈱ 〒930-0031富山市住吉町 1-5-8 TEL.(076) 424-1755 FAX.(076) 423-8899